

弁天堂

弁天堂は芸術と知識の女神である弁財天に捧げられています。弁財天は、水に関連するヒンドゥー教の女神に由来しています。これは、木々に囲まれた池の後ろにある朱色の構造の説明に役立ちます。彼女は通常、琵琶を演奏している姿で描かれ、七福神の中で唯一の女性神です。

弁天堂は、醍醐天皇の死から 1000 年を記念して 1930 年に建てられました。朱色の建物は、鯉が泳ぐ池の後ろに建ち、木々に囲まれています。この場所は特に秋に人気があり、カエデやイチョウの葉が黄色や赤に色づきます。